

# 令和6年度滋賀県防災会議 結果概要

## 1. 日時

令和7年1月16日(木)16時00分から17時00分まで

## 2. 場所

滋賀県危機管理センター3階 オペレーションルーム(WEB(Zoom)併催)

## 3. 出席者

滋賀県防災会議会長、委員 64名

## 4. 議題

滋賀県地域防災計画の修正について

## 5. その他の議事

意見交換

## 6. 議事概要

- ・次第の「3 議題： 滋賀県地域防災計画の修正」について、事務局から修正内容を説明。審議の結果、異議なく承認された。
- ・なお、滋賀県企業庁長 藤原委員からのご意見により、避難所での搾乳について風水害等対策編および震災対策編、原子力災害対策編に追記することとされた。
- ・次第の「4 意見交換」においては、「阪神・淡路大震災」「受援体制・被災地への支援体制」「災害ボランティア」「防災教育」等に関して意見交換が行われた。

## 7. 主な質疑・意見など

### ■議題「滋賀県地域防災計画の修正について」

#### 【陸上自衛隊第3偵察戦闘大隊 阪井委員】

情報提供だが、陸上自衛隊は、ドローンを用いた災害時の情報収集に関して、一般社団法人日本 UAS 産業振興協議会(JUIDA)と協定を結んだ。今後、滋賀県としても、ドローンに関して協定や、民間企業等との連携に取り組むことも有効と考える。

#### 【議長(三日月知事)】

発災直後の被害状況の確認も極めて重要。

【滋賀県企業庁長 藤原委員】

【資料5】滋賀県地域防災計画(原子力災害対策編)の9ページに、授乳室の設置に関する文言があるが、災害時に何らかの事情で母と子が離れ離れになり、搾乳をしなければならない状況があり得るため、授乳室を搾乳にも使えるような内容とするのはどうか。

【事務局】

委員ご指摘のような配慮が避難所において必要と考える。

【議長(三日月知事)】

藤原委員のご意見のとおり地域防災計画を修正することでよろしいか。

【各委員】

異議なし。

【びわ湖わんにゃんマルシェ実行委員会 川口委員】

滋賀県が作成している「滋賀県災害時ペット同行避難ガイドライン」について、市町によって取組にまで落とし込んでいくかは様々なので、各市町に展開していくことが重要。

【議長(三日月知事)】

10月に開催した総合防災訓練でも、ペットの同行避難に関する訓練を実施しており、そのような取組を積み重ねていくとともに、ガイドラインを多くの方にお届けするようにしていきたい。

【事務局】

市町職員の方々が集まる会議においてガイドライン等の情報提供を行うなど、内容の周知をしながら取組を進めていきたい。

## ■意見交換

【議長(三日月知事)】

滋賀県全体の防災力向上に必要なこと等について、委員各位のご意見を自由にご発言願う。本日は、それぞれ幅広い分野の方に参加いただき、普段感じておられること、考えておられることなどをお聞かせいただきたい。

阪神・淡路大震災から30年という節目を迎えるため、NPO政策研究所の相川委員から、当時様々な取材等をされていたというご経験も踏まえて、最初にご発言いただきたい。

【特定非営利活動法人 NPO 政策研究所 相川委員】

阪神・淡路大震災から30年と言うと一区切りのように考えられがちだが、今後も続く課題もある。例えば、「新長田駅南地区」の再開発事業は昨年10月によく完了したが、行政が用意した商業スペースは

約6割が売れ残り、この地区だけで 320 億円以上の赤字が見込まれる。再開発は拡大路線の手法なので、今後は人口減少が進む中、身の丈にあった事前復興のプランや、計画を途中で柔軟に見直すことができる体制が求められている。

また、アスベスト(石綿)を吸い込んだことによる悪性中皮腫などの疾病は潜伏期間が 30～50 年なので、これから患者が急増することが懸念される。これまでに8名の労災認定が行われているが、解体作業に従事していない一般の人も含め 3 倍ぐらいの人数が発症していたことが明らかになった。アスベスト含有の建材等をあらかじめ取り除いておくことが予防になるので、環境先進地の滋賀県としては、ぜひ2次被害を出さない対策を検討していただきたい。

情報提供を1点。私が委員として参画していた「滋賀県女性の参画による防災力向上検討懇話会」の関連で「しが防災プラスワン～女性の視点と多様性」という啓発教材を作成しており、毎年フォローアップのフォーラムを開催している。今年は2月 11 日に危機管理センターで、在宅避難や車中泊などの避難所外避難に焦点を当てた企画を実施するので、ご参加いただきたい。

【議長(三日月知事)】

事前復興の考え方、しかも人口減少など社会の変化を踏まえながら柔軟に計画を変えていくことが必要。また、アスベスト被害や、在宅避難・車中泊避難なども想定した事前の備えも重要。

【大阪海上保安監部 宮本委員】

海上保安庁は、内陸部で災害が発生した場合でも、孤立集落の支援や、避難者の救助、支援物資の搬送、被害状況の調査等の活動を行っている。滋賀県で災害が起こった場合でも、海上保安庁を頼っていただければと思う。

【議長(三日月知事)】

ぜひお力添えいただきたい。

【国立研究開発法人 防災科学技術研究所 辻岡委員】

防災科学技術研究所では、全国の自治体を対象に、令和6年能登半島地震に関する応援受援の取組を調査しており、滋賀県職員の方々にもヒアリングしており、たいへん示唆に富む話を聞かせていただくことができ、ご協力に感謝申し上げます。

全国調査を踏まえ、受援側の自治体としては、どのような状態になったら受援を終了するというのを平時から検討しておく必要がある。

また、被災地支援に際しては、県職員だけでなく、市町村職員と一緒に派遣することで、実態に沿った支援ができるという意見を全国調査の中で多くいただいた。滋賀県でも、被災地へ職員を派遣する際は、市町村職員と一緒に派遣する体制を検討していただくことを提案する。

【議長(三日月知事)】

全国調査が取りまとめられれば情報共有いただき、滋賀県にも生かしたい。支援の終了時期や、市町と一緒に被災地を支援する体制は極めて重要。

【一般社団法人 滋賀県バス協会 野村委員】

発災後 72 時間以内に行うことを各機関が精査しておくことが必要。

【議長(三日月知事)】

極めて重要な視点。

【日本防災士会滋賀県支部 小野委員】

被災地への職員派遣について、行政職員に加えて、日本防災士会 滋賀県支部や、防災支援赤十字奉仕団、県職員 OBOG なども加えたチーム構成とするのはどうか。

【滋賀県防災危機管理監 山下委員】

令和6年能登半島地震の支援では、発災後数日で現地の被災状況が分からないまま職員を派遣しなければならず、自己完結の支援を行うことに苦勞した。女性職員や市町職員には、少し時間を置いて支援に行っていた。

現地の状況をいかに早くつかみ、その状況に応じていかに早く人を派遣できるかということ、本日の災害対策本部訓練等をはじめ、平時から訓練していきたい。

【議長(三日月知事)】

市町職員や、民間の方々、日本防災士会の方々、日本赤十字社の方々を含め、どのような体制で被災地への支援チームを組成し、支援に行っていたか考えたい。

【災害 NGO 結 西谷委員】

滋賀県防災会議事務局から依頼があったので、能登半島の現状について情報提供する。

私たちはボランティア団体として、1月2日に能登半島に入った。滋賀県の応援職員も早い段階から車中泊できる体制で入っていたのが素晴らしかった。他の行政機関では、準備のない方は廊下で寝袋のような状況だった。

支援団体には様々な団体があり、物資支援や道路啓開、医療分野・福祉分野での避難所支援など、専門技術を有する団体がある。自衛隊や機動隊などから協力を求められる場合もある。災害時には、行政と支援団体の連携が重要なので、普段から様々な団体とつながっていただきたい。能登半島地震での課題として、1月3日くらいには重機で支援できる団体が入ったものの、道路の被害状況が悪かったため、重機を能登半島に持ち込めなかった。このような点でも、行政と支援団体の連携は重要。

また、被災自治体の職員へのケアにもすごく気を付けていただきたい。たくさん被災自治体職員が退職されてしまわれたり、うつ病の発症率が高くなっていたりする。

さらに、県庁と被災市町との連携という点で、被災市町に寄り添った対応や、円滑に情報を共有するため、早い段階で被災市町に前線基地のようなものを設置し、情報を吸い上げるための仕組みを作っていただきたい。

【議長(三日月知事)】

改めてご経験を聞かせていただくような機会を作りたい。

おっしゃったように様々な能力をもしくは経験をお持ちのボランティアの方々と、いざという時にどのような連携をするのかという視点も大事。また、職員のケアという視点も常に持ちながら体制づくりを行いたい。

【むさっこ食堂運営委員会 石田委員】

むさっこ食堂運営委員会は、子ども食堂において7年前からキッズ防災に取り組んでいる。消防団や学校にも協力いただきながら、「自分の命は自分で守る」を合言葉に幅広く企画している。

滋賀県防災会議の委員各位から、子どもが身につけるべき力や、具体的な防災教育の取組などについて知見をいただきたい。

【議長(三日月知事)】

日々の遊びや活動の中でいざという時の備えを学んでおくということも大事。委員の中には、様々な経験やメッセージをお持ちの方もいらっしゃると思うので、また後ほどむさっこ食堂運営委員会様と情報共有させていただくようにする。

以上